

平成27年1月10日  
豊岡市商工会

## 豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(平成26年10月～12月期実績、平成27年1月～3月期見通し)

《1》 調査時点 平成26年12月15日

《2》 調査対象

調査依頼先  
150企業

有効回答数  
120企業 (回答率80.0%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	
製造業	24	2	2	2	2	9	7	8	7	4	3	21
建設業	27	2	0	3	3	13	9	5	5	3	3	20
小売業	35	10	8	3	3	13	8	8	8	2	2	29
飲食業	20	6	6	2	2	5	3	6	5	1	1	17
宿泊業	23	8	6	6	4	8	6	/	/	/	/	16
サービス業	21	2	1	1	1	11	9	4	3	3	3	17
合計	150	30	23	17	15	59	42	31	28	13	12	120

《3》 調査項目

- ①売上高      ②仕入単価      ③採算性      ④資金繰り      ⑤景況感  
⑥従業員の人数      ⑦直面している経営上の問題      ⑧今後の取組み

【平成26年10～12月期実績】

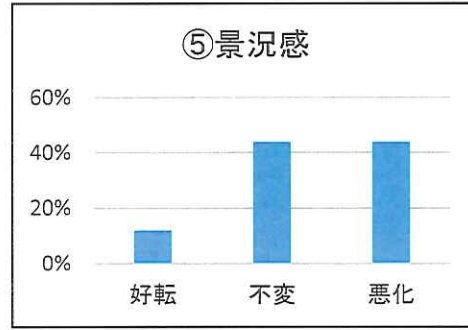
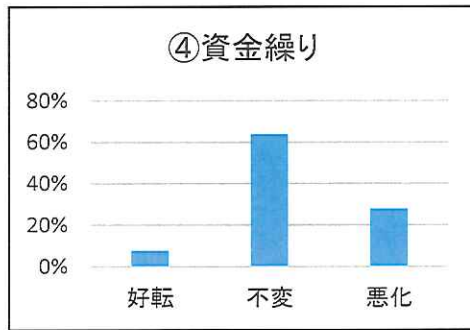
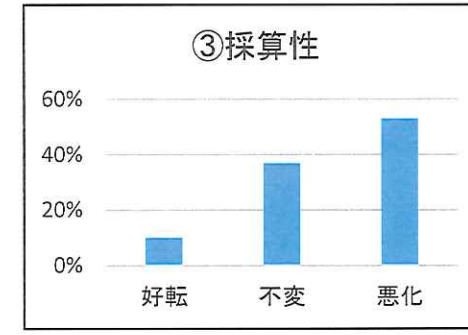
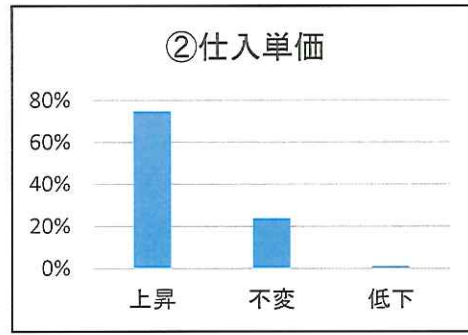
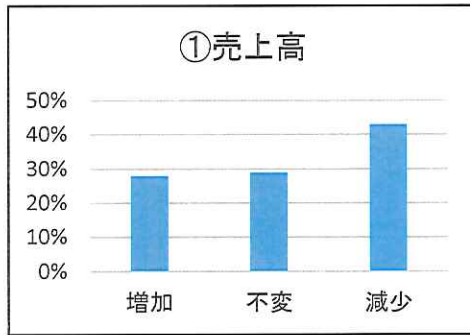
(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲10→) ▲8 (前期差2ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。
	業種別売上高DIは、製造業、建設業、飲食業、サービス業が上昇し、小売業が横ばいで宿泊業が低下した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、(前期67→) 72 (前期差5ポイント増) となりプラス幅が拡大した。
	業種別仕入単価DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業が低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲41→) ▲36 (前期差5ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。
	業種別採算性DIは、製造業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業、小売業が低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲20→) ▲18 (前期差2ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。
	業種別資金繰りDIは、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、製造業が横ばいで建設業、小売業が低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲28→) ▲20 (前期差8ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。
	業種別の景況感DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業が低下した。

【平成27年1～3月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲21となり13ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別売上高DIは、小売業、宿泊業が上昇し、製造業、建設業、飲食業、サービス業が低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、74となり2ポイントプラス幅が拡大する見通し。
	業種別仕入単価DIは、建設業、小売業、サービス業が上昇し、製造業、飲食業、宿泊業が低下する見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲39となり3ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別採算性DIは、宿泊業、サービス業が上昇し、製造業、建設業、小売業、飲食業が低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲22となり4ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別資金繰りDIは、建設業、宿泊業、サービス業が上昇し、製造業、小売業、飲食業が低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲29となり9ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別の景況感DIは、建設業、宿泊業が上昇し、製造業、小売業、飲食業、サービス業が低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（平成25年10月～12月）と比べた今期（平成26年10月～12月）の状況

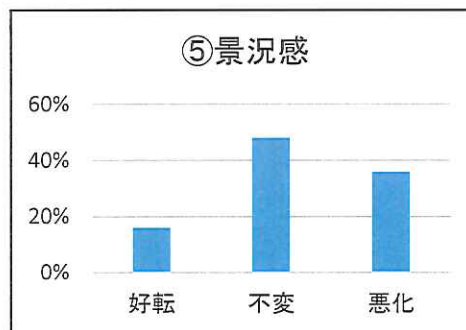
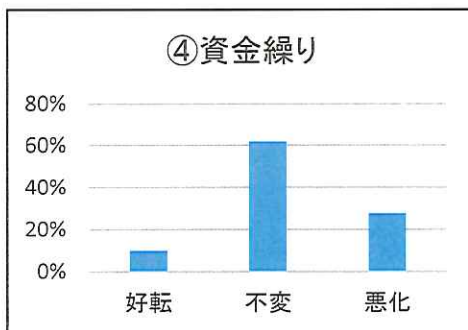
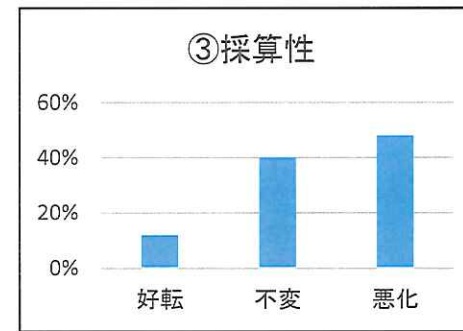
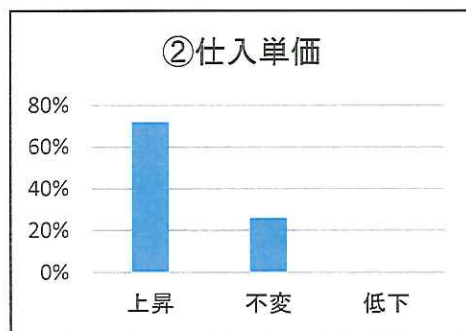
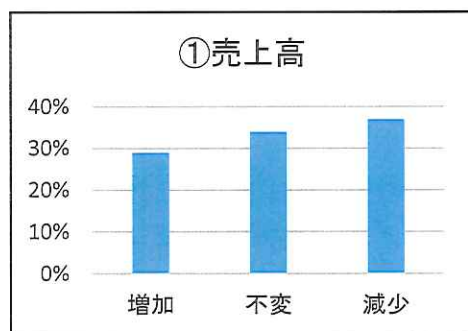


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲15	10	▲50	▲16	35	▲31	▲29
仕入単価	74	76	79	63	80	88	62
採算性	▲43	▲48	▲50	▲50	▲29	▲54	▲35
資金繰り	▲20	▲10	▲35	▲17	0	▲33	▲23
景況感	▲32	▲24	▲60	▲36	7	▲17	▲41

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比  
 前期（平成26年7月～9月）と比べた今期（平成26年10月～12月）の状況



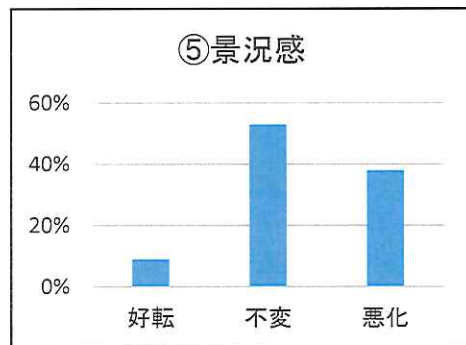
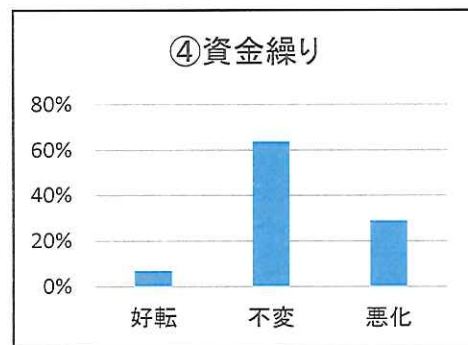
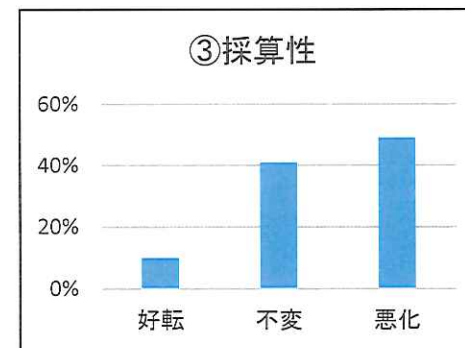
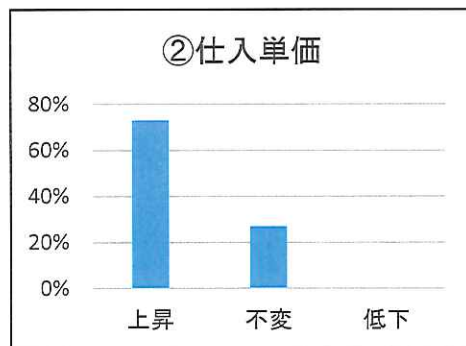
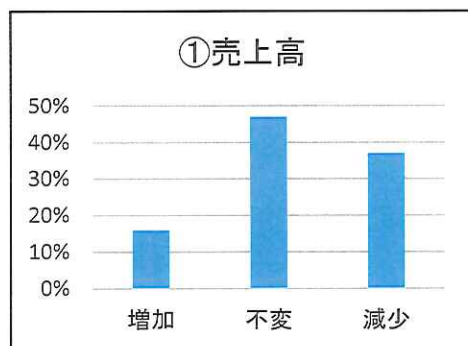
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲8	20	▲40	▲11	38	▲32	▲23
仕入単価	72	76	67	66	81	88	50
採算性	▲36	▲30	▲45	▲47	▲11	▲43	▲35
資金繰り	▲18	▲18	▲35	▲22	13	▲29	▲13
景況感	▲20	▲10	▲48	▲20	23	▲25	▲41

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（平成26年10月～12月）と比べた来期（平成27年1月～3月）の見通し



【全業種・業種別D I】

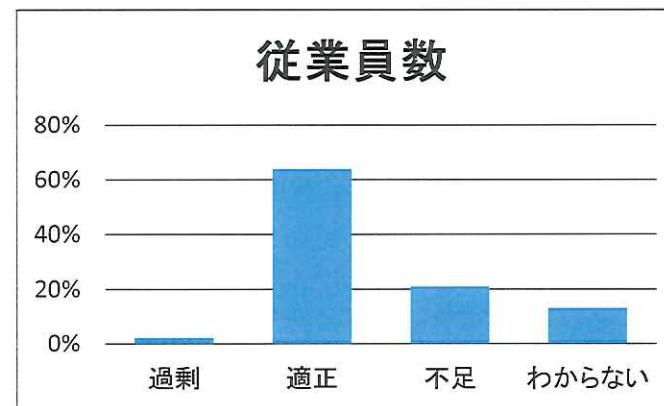
	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲21	▲19	▲50	▲6	▲11	▲6	▲35
仕入単価	74	67	85	86	75	69	53
採算性	▲39	▲45	▲63	▲50	▲17	▲15	▲30
資金繰り	▲22	▲28	▲32	▲30	▲6	▲14	▲11
景況感	▲29	▲20	▲45	▲29	▲18	▲6	▲50

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について

【全業種】

従業員の人数	件数	比率 (%)
過剰	2	2
適正	75	64
不足	25	21
わからない	15	13
合計	117	100



【業種別】

従業員の人数 (件数)	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
過剰	0	0	0	1	0	1
適正	15	11	19	11	9	10
不足	4	5	3	4	5	4
わからない	2	4	5	1	1	2
合計	21	20	27	17	15	17

【5】直面している経営上の問題点について

【全業種】

直面している経営上の問題点	件数	比率 (%)
消費者（製品）ニーズ変化への対応	28	24
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	47	40
必要な人材の雇用確保	25	21
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	14	12
事業資金の借入難	4	3
合計	118	100

【業種別】

直面している経営上の問題点（件数）	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
消費者（製品）ニーズ変化への対応	2	4	8	3	2	9
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	13	9	10	10	3	2
必要な人材の雇用確保	5	5	1	2	9	3
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	1	1	9	1	0	2
事業資金の借入難	0	1	1	0	1	1
合計	21	20	29	16	15	17

【6】 今後、取り組んでいきたいこと

【全業種】

今後、取り組んでいきたいこと	件数	比率 (%)
販路開拓（新市場開拓・海外展開等）	43	36
業務の効率化・仕事のみえる化	27	23
人材育成・社員教育	24	20
消費税増税対策・会計管理の見直し	23	19
就業規則・労務管理体制の見直し	3	2
合計	120	100

【業種別】

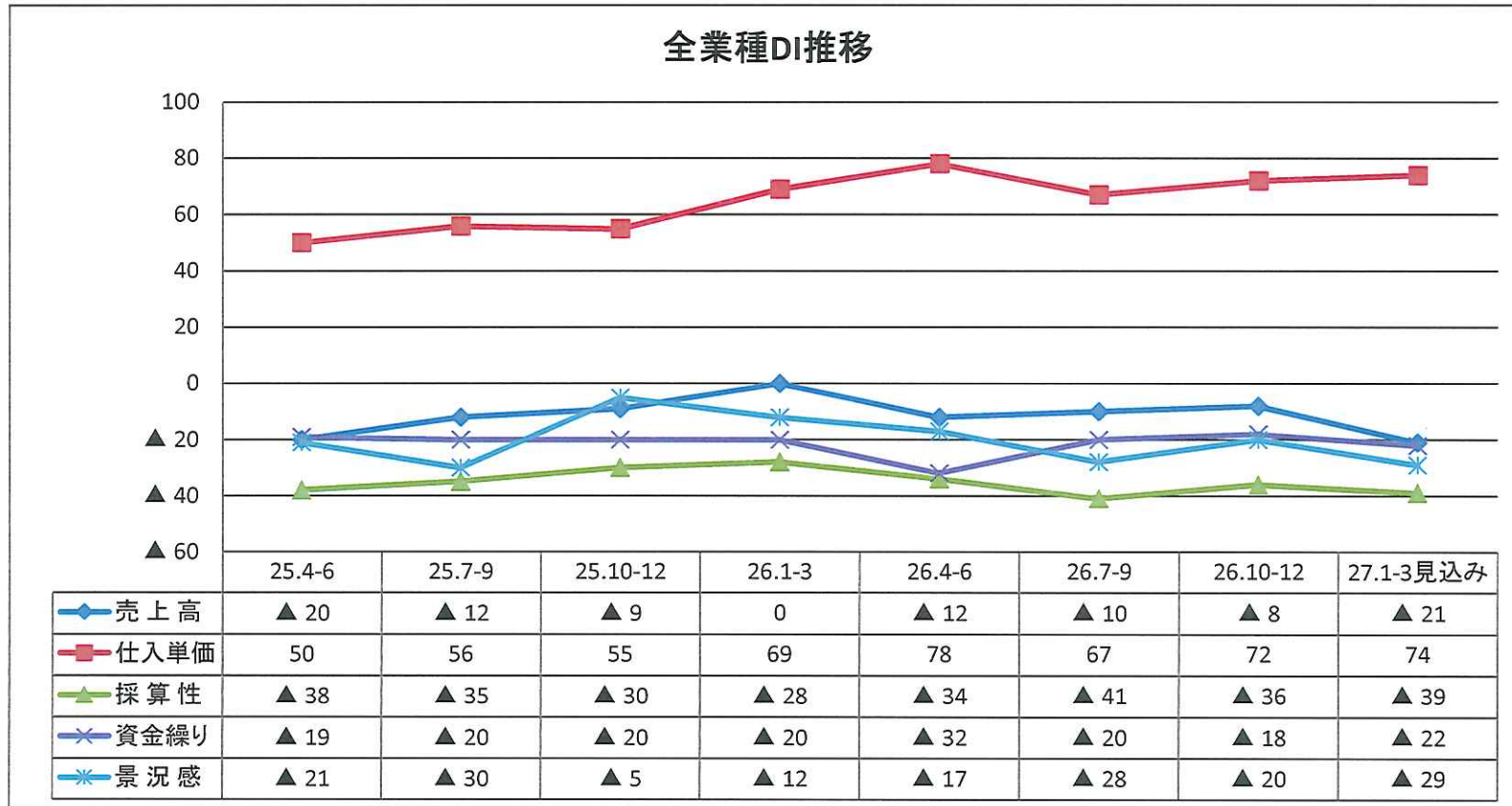
今後、取り組んでいきたいこと（件数）	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
販路開拓（新市場開拓・海外展開等）	9	5	15	5	4	5
業務の効率化・仕事のみえる化	5	7	4	2	5	4
人材育成・社員教育	5	5	5	2	4	3
消費税増税対策・会計管理の見直し	1	3	5	8	2	4
就業規則・労務管理体制の見直し	1	0	0	0	1	1
合計	21	20	29	17	16	17



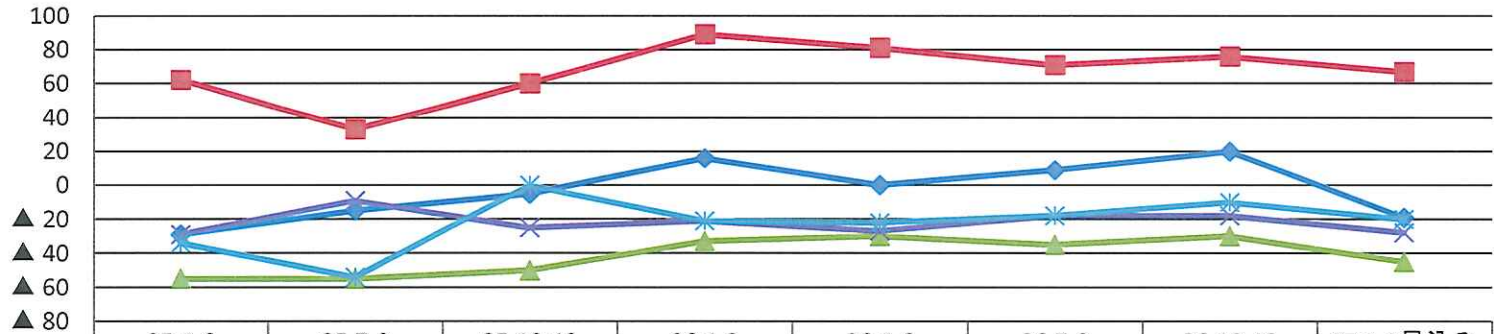
## 【7】自由コメント

1	景気は徐々に良くなってくると思われませんが、販売価格の上昇にはつながりません。原材料費が高騰すると思われる中で、新しい販路や市場の開拓と、省力化や新しい技術に対応する設備の整備が求められると思います。（製造業）
2	商工会、観光協会、広域行政等のつながりを密にして観光、経済について広い視野で考えていかないと但馬は衰退する。（小売業）
3	やり方を考えていけば、もう少し売上アップができる気がします。（飲食業）
4	小売業は今後、消費税増税も絡めてますます不況感が増すように予測される。それに即して、業務の効率化をさらに求められる。営業形態の見直しも懸案事項になってくるように思います。（小売業）

平成25年4月～平成27年3月(見込み)までの豊岡市商工会管内景気動向調査結果

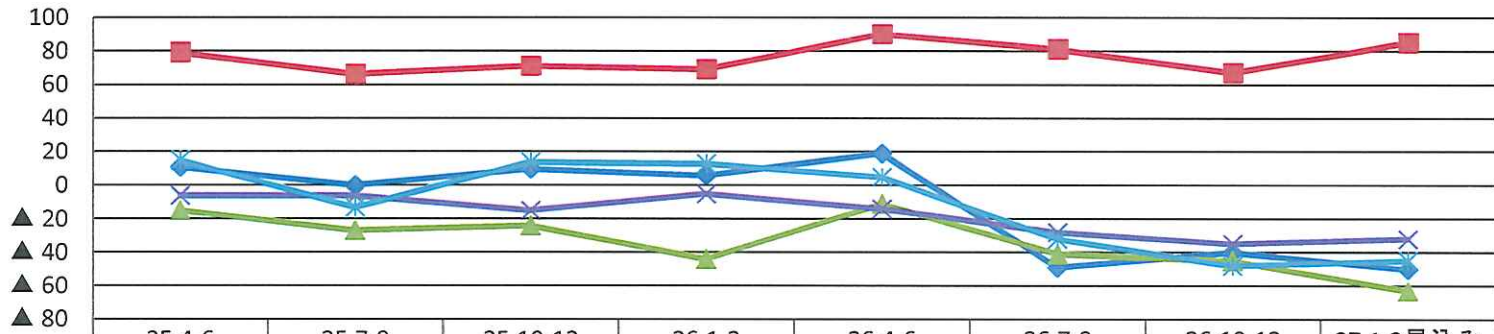


### 製造業DI推移



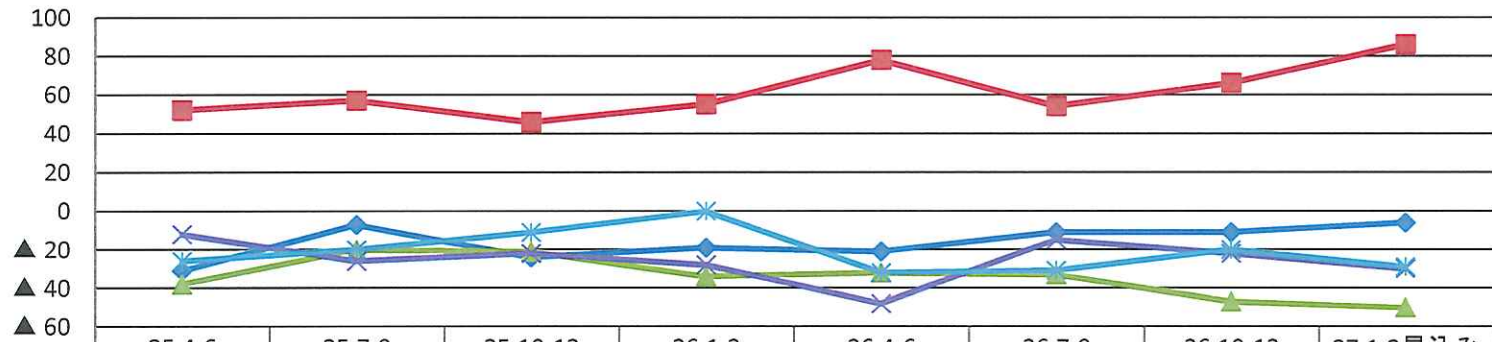
	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6	26.7-9	26.10-12	27.1-3見込み
◆売上高	▲ 29	▲ 15	▲ 5	16	0	9	20	▲ 19
■仕入単価	62	33	60	89	81	71	76	67
▲採算性	▲ 55	▲ 55	▲ 50	▲ 33	▲ 30	▲ 35	▲ 30	▲ 45
×資金繰り	▲ 29	▲ 9	▲ 25	▲ 21	▲ 27	▲ 18	▲ 18	▲ 28
★景況感	▲ 34	▲ 54	0	▲ 21	▲ 22	▲ 18	▲ 10	▲ 20

### 建設業DI推移



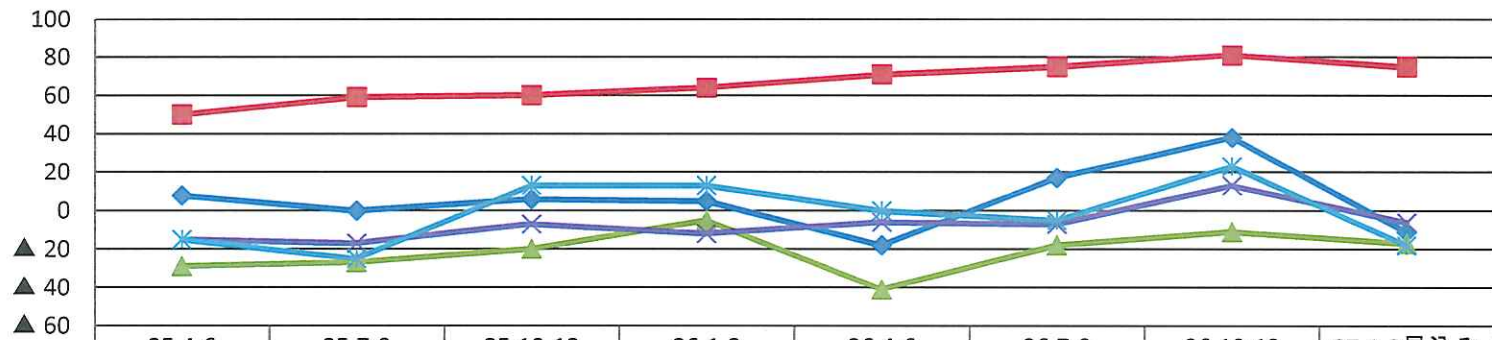
	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6	26.7-9	26.10-12	27.1-3見込み
◆売上高	11	0	10	6	19	▲ 49	▲ 40	▲ 50
■仕入単価	79	66	71	69	90	81	67	85
▲採算性	▲ 15	▲ 27	▲ 24	▲ 44	▲ 11	▲ 41	▲ 45	▲ 63
×資金繰り	▲ 6	▲ 6	▲ 15	▲ 5	▲ 14	▲ 28	▲ 35	▲ 32
★景況感	15	▲ 13	14	13	5	▲ 32	▲ 48	▲ 45

### 小売業DI推移



	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6	26.7-9	26.10-12	27.1-3見込み
● 売上高	▲ 31	▲ 7	▲ 24	▲ 19	▲ 21	▲ 11	▲ 11	▲ 6
■ 仕入単価	52	57	46	55	78	54	66	86
▲ 採算性	▲ 38	▲ 20	▲ 21	▲ 34	▲ 32	▲ 33	▲ 47	▲ 50
× 資金繰り	▲ 12	▲ 26	▲ 22	▲ 28	▲ 48	▲ 15	▲ 22	▲ 30
✦ 景況感	▲ 26	▲ 20	▲ 11	0	▲ 32	▲ 31	▲ 20	▲ 29

### 飲食業DI推移



	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6	26.7-9	26.10-12	27.1-3見込み
● 売上高	8	0	6	5	▲ 18	17	38	▲ 11
■ 仕入単価	50	59	60	64	71	75	81	75
▲ 採算性	▲ 29	▲ 27	▲ 20	▲ 5	▲ 41	▲ 18	▲ 11	▲ 17
× 資金繰り	▲ 15	▲ 17	▲ 7	▲ 12	▲ 6	▲ 7	13	▲ 6
✦ 景況感	▲ 15	▲ 25	13	13	0	▲ 5	23	▲ 18

### 宿泊業DI推移



### サービス業DI推移

